

北の鉄道風景

Train number; 151M

2015.1.23 9:57

1/80, f/10, ISO 100, f=27mm, Daylight/Sunny

4912×7360 Raw

第118回

正月 A I 考

布団の中でゴロゴロしていても、寝正月と言えば体裁が保てる。酔っ払ったところで、お屠蘇^{とそ}気分で済ませられる。正月はありがたい。ついでに、原稿もA I任せでどうだ。

「お年玉をもらった悠くんが、雪の白滝駅から鉄道旅行。紀行文でも書いてくれ」とA Iにリクエスト。キーを叩くと、即座に原稿が出来上がった。寒いホームから乗り込んだ列車の暖かさにホッとする悠くん。なかなかの出来じゃないか、俺なんかいらなないな。

ところが、列車が雪原を疾走する描写に、ん？石北本線は、森の中を唸りながら走るんじゃないか？さらに列車は北に向かつて走り出す。なんじゃこれは。フル回転で思考をめぐらすと、確かにそんな列車がかつてはあった。遠軽でスイッチバックせずに、名寄本線に入っていくキハ24の「大雪1号」か？これではマニアックすぎる。

それじゃあ、中学生の女の子、ミクちゃんならどうだ。乗車駅は札幌だ。



雪が止むと正月が来た。列車もいつも通りにやって来た。万字線 1985



写真と文＝眞船直樹

それ！ポン！なに！ホームで新幹線
を待っている？今度は未来に飛び過
ぎだ。雪の中を走る北海道新幹線は
定番の「あるある描写」ながら美しい。
でも、実際は殆どの区間がトンネル
とシェルターだから、こうはならない
はず。これも却下。

最後は、破れかぶれで直樹という
爺さんが銀山駅から乗る、としてみた。
「直樹じいさんは、長年の鉄道ファン
で…」そんなこと入力してないぞ。」「
車内で出会った鉄道ファンと話が盛り
上がり…」ありそうな話だけに、怖いな。
おそらく、Web上のデータと、私の普
段の反応を解析したAIの反撃だろう。

AIよ、あなたは確かに素晴らしい。
検索、文章構成、スピードに関しては。
ただ、正確さは零点。札幌駅に行つて
も看板の新幹線しか無いことくらい、
五歳の孫でも知っている。それと、無
難な表現ばかりで創作力も貧弱。いつ
そのことC623で月の裏側まで行つ
ちやつたくらい書いてよ。

やはり、初夢をネタに原稿書いた方
がいいかもしれないな。さあ、寝るぞ。❶